

12/12 母島・乳房山<sup>ちぶさやま</sup>ネイチャートレッキング

晴れたり曇ったり、山は上部ガス

ペンション・ドルフィンでの朝食(7:00)を済ませ目的の乳房山へと向かう(7:51 スタート)。バナナやパイパイヤなどが実る南国情緒たっぷりの道を進み、登山口に7:57着、ここから亜熱帯植物の森の中へ入る。父島もそうだが里に近いところには人間が持ち込んだサンセベリアやアレカヤシなど外来の植物が結構目につく。奥に入るにしたがって小笠原諸島固有の植物が多くなってくる。亜熱帯といえども冬季のため開花している植物が少ないのが残念だったが、それでも固有種のテリハハマボウやムニンシュスランなどが辛うじて咲いていた。

西側入り口から時計回りに歩く



外来種持込み防止のため靴底を拭く



亜熱帯の植物が茂る中に行く



この日の気温は 20℃超あり、私はTシャツで行動した。登山道はよく整備されて歩きやすく、植物や展望を楽しみながらも、思ったより時間を稼げた。乳房山頂上に 9:39 着、あいにくガスっていて期待していた展

望はあまり良くないが美しい海の色と海岸線は何とか見えた。父島に戻る「ははじま丸」の14時出港までには下山しなければならないので、スタート時点では往路を戻ることになっていたが時間に余裕ができたので、周回コースの東側の道を下って行った。

このコースは見晴らしがよく、海岸線を望みながら歩いて快適なコースであった。ヤシ類やシダ類など内地の山とは全く異なる植生の中を歩くのは、現役時代に植物にかかわる仕事をしていた私にとっては楽しいひと時であった。麓から鋭くとがった形に見える剣先山経由で11:40に下山した。

この後、小さなスーパーでビールを調達してペンションで少し休憩したが、このとき母島にしか生息しないというハハジマメグロ(スズメくらいの大きさのきれいな鳥)を見ることができた。



乳房山東側の海岸線

乳房山頂上 462.6m

剣先山から集落を見下ろす



この日は、14時出港の「ははじま丸」に乗船して2時間の航海の後、父島に16:00着。約2時間のほとんどをデッキに出てクジラが見えないかと頑張ったが駄目だった。よく見ることができるのは1月から4月頃だそうである。父島では「シートピア」という宿に2連泊したが、ここの料理は島料理ではなかったが、なかなか良かった。(藤原 稔 記)

ははじま丸出航

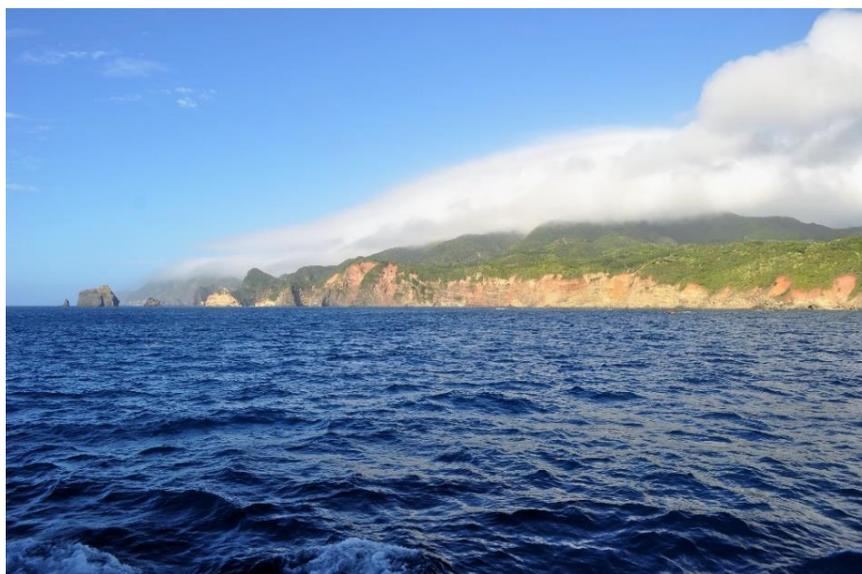
水面が碧い



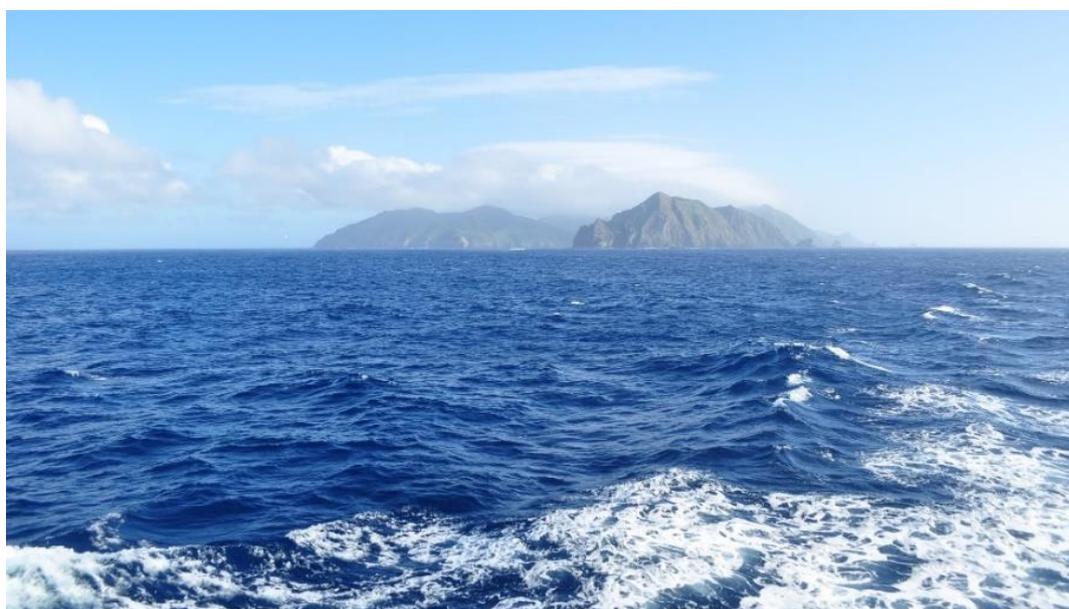
くじらの旗でお見送り



母島に吹き付ける風が山を駆け上がり雲ができる



母島が遠ざかっていく。



また父島へ帰ってきた。16:00 着



おがさわら丸停泊中



宿の方がお出迎え



今日の宿舎シートピアへチェックイン



その3へ続く